
人生終了の日

空井美保

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人生終了の日

【Nコード】

N9996X

【作者名】

空井美保

【あらすじ】

ある日つくえにおいてあった手紙。

見てみると今日でお前の人生は終わるとの内容が・・

今日でやりたいことを全部やると決めた拓馬。

果たしてどういう人生になるのか。

人生は今日で終わる

俺は金城拓馬。

ただいま17歳の高校2年。

俺の人生が今日で終わると知ったのは今日だ。

朝起きると机には手紙が置いてあった。

目がまだ開いていないような状態で

封筒の中の手紙を取り出し、見てみると

驚くことが書いてあったのだ。

君の人生、いや、君の地球は今日で終わるのだ。

これは文明化学者による結果だ。

うそだというのなら、普通に過ごしてみろ

あとで後悔するぞ。

まあ、お前の人生は17歳で終わること自体不幸だけだな。

まあ、ドキドキの24時間を過ごしたまえ

死はもう迫っている。

などと書いた手紙。

俺は信じることは出来なかった。

今思うととても楽しかった。

いろんなやりたいたいが

一日で全部、全部やれたのだから。

俺が始めにやろうと思ったことは恋。

俺には彼女がいない。

17年間ずっといない。

今日、初めてナンパをした。
可愛い、アイドルにいそうな女の子を
ナンパした。

そうするとその子はOKをしてくれた。

「わたし、１７歳で、実は拓馬さんと学校一緒なんです。」

「俺のこと、もしかして知ってるの？」

「はい、もちろん知っています。クラスでも有名です。」

その子は真衣ちゃん。

同じ歳で同じ学年の子だった。

そして少し出かけた後、彼女に言った。

今までありがとう。

真衣ちゃんは少し不思議な顔をしたが
悲しませてしまうと思い、笑顔で立ち去った。

2年ぶりの母との再会

母親とは2年も会っていない。
2年前、父と母は離婚したのだ。
離婚をし父親についていつた俺は
まだ幼くて、離婚の意味とか
どうして離婚しないといけなくなったのか
詳しいことは分からないままだ。

そして3ヶ月前
やっと理由が分かった。

親父が浮気をしていたのだ。
浮気をして、その彼女に母親は
いじめにあっていた
涙を流しているのにもかかわらず
親父は何も出来なかったのだという。

そんな母親、元気にしているだろうか。
今は子供が2人居るらしいと
母親が住んでいる家の近くの知り合いの人が
言っていた。

母親の家のインターホンを押すと
どこか懐かしい声で
「どちら様ですか??」

その声を聞いただけで
少し嬉しくなった。

「金城です。」

そう名乗ると

母親がすぐにドアを開けた。

「どうしてここに来たの？」

特に理由はないと俺は言った。

今日で俺がこの世界からいなくなると
言ってしまうと、話にならない。

母親の後ろには

3歳ぐらいの男の子。

そして5歳ぐらいの女の子がいた。

「子供いるんだね……」

いくら母親から産まれた俺でも
同じ場所に住んでいない。

そして父親についていった俺は
そんなに明るくは話せない。

考えているうちに悲しくなり

俺は今日の日のこと。

そして産まれてきたことを

「ありがと。お母さん。」

といい、走っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9996x/>

人生終了の日

2011年12月2日17時55分発行